

# 高浜地区振興会 広報

# はと 九鳥の峯 みね

No.18  
2010  
12.15

平成22年12月15日



## 主な内容

体育祭	2P
グランドゴルフ大会	2P
男性料理教室	2P
ワークショップ	2P
高浜のいまむかし	2P
高小持久走大会	3P
天中文化発表会	3P
西校の今	3P
下水道について	3P
寄稿「故郷を想う」	4P
歴史散策	4P
待籠もり	4P
編集後記	4P

## 高浜港より 愛宕山を眺望

朝もやの中に雄大な姿 愛宕山(標高285m)。高浜の港から眺める山は、まさに高浜の富士山、愛宕富士に見えませんか。

山の麓にある、内野迫社・愛宕神社は、雷神、防火の守護神だそうです。

## 高浜地区体育祭



区一丸となつた大きな声援



息のそろつたジャンプ…次は

10月10日(日)、秋晴れのもと、高浜地区体育祭が総合グラウンドで開催されました。今大会はちょうど40回目となる節目の年でもありました。競技は午前中で終了しましたが、その反面各競技の内容が濃く、参加された各地区的選手・役員全員が、この40回目となる記念の大会を大いに盛り上げていました。

優勝は、白木地区でした。



団体優勝の白木Bチーム

個人		団体
3位	優勝	西岡 恒隆 (スコア40打)
2位	優勝	白木 B (スコア281打)
3位	2位	諏訪 A (スコア295打)
	2位	河内 A (スコア296打)
		西岡 恒隆 (スコア40打)
		松本 哲夫 (スコア40打)
		西岡 恒隆 (スコア42打)

選手は総勢162名で、下は12歳から上は88歳の老若男女が競技。賞品も数多く、ホールインワン賞も12名出るなどレベルの高い大会となりました。

団体・個人の表彰は次の通りでした。

## 第21回 高浜グラウンドゴルフ大会

## 男性料理教室

## ワークショップ

11月26日(金)、「熊本県夢あるまちづくり創造事業」高浜

地区ワークショップが開催されました。

高浜〇×クイズやこれまでの活動報告を行い、持ち寄った高浜の昔の風景写真が紹介され、今後の活動について3班に別れワークショップを行いました。

最後にまとめと、大分県戸次本町の町並みと富春館（帆足家）の取り組み紹介や、九州大学藤原先生と藤田カメリマンが感動した高浜の景色解説がありました。また、年2月5日に高浜の魅力を共有するシンポジウムの開催提案され承認されました。



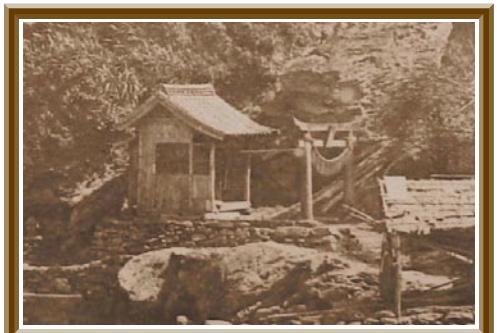
多くの意見が出されたワークショップ



11月26日(金)、「熊本県夢あるまちづくり創造事業」高浜地区ワークショップが開催されました。

## 恵比須神社

## 第1回 高浜のいまむかし



セピア色の写真は大正の頃の写真です。覚えていらっしゃる方もおられるでしょう。

## 高校内持久走大会と 高浜フェスタ



ひかえおろー



好天に恵まれた12月5日(日)高浜小学校で校内持久走大会と高浜フェスタが開催されました。持久走では、最初に3、4年生がスタート、続いて1、2年生、最後は5、6年生と続き全員完走しました。

午後からは、昨年まで学年毎の学習発表会を縦割りチームでの発表会に変更し、「希望～みんなの技と情熱を結集して～」をテーマに、金メダルの体育部門、高浜小唄が懐かしかった音楽部門、水戸黄門の高浜漫遊の演劇部門の発表などがあり、笑いあり感動ありの発表会でした。

## 天中文化発表会

### 幸せな文化発表会

PTA会長 中川 みどり



11月14日、天草中学校文化発表会が行われました。「STORY～みんなで描く物語～」というテーマのもと、会場には第一次産業体験や職場体験選択理科での自由研究など日頃の学習の成果が展示されていました。中には恋愛にまつわる短歌があつたりして「んく、青春しとるな」と微笑んでしまう作品も。また、ストーリー発表では、英語暗唱や学年ごとに趣向を凝らした舞台が展開されました。保護者やご家族の皆さんも多数いらつしあつて、生徒たちの活躍はほほ毎年合格者が出ていています。しかし、生徒たちの活躍は特筆級。進路の実績、国公立大学への進学は簡単ではないが、エイト部の活躍、十五年連続インターハイ出場、そして八回の国体出場。昨年度は選抜、インターハイ、国体の三冠を達成した生徒も輩出。書道部も頑張る。今年三月に開通した鬼海ケ浦トンネルの題字は西校生の手になるもの。西高太鼓は新たな入部者を待つ。学校行事も充実。文化祭は西校最大のイベント、伝統のクラス演技も健在だ。西校アンソロジーと銘打った各種の発表では、意見や読書感想文の優秀作も披露。遠見行は天草中との交流行事、秋晴れの空のもと浩然の気を養い、互いの交流が深まつた。ロードレース大会は距離も延びて二十kmと十五km。過酷なアップダウンにもめげず全員が完走し、タイムも十分。「小粒な山椒」には実際に味わい深い滋味がある。

## 西校の今

### 「小粒な山椒」



天草西校 教頭  
土田 圭司

## 平成23年4月より 下水道が一部供用開始

● 平成23年4月から共用開始できる地区については、10月27日～28日の2日間、説明会を実施しましたが、そのほかの地区については、対象者向け（平成23年4月から接続可能な方）に説明会を開催する予定です。また、自分の家がいつ接続できるかについて、天草支所産業建設課

下水道は、快適な生活環境を確保し、併せて海や河川の水質保全を図る社会基盤施設の一つです。下水道が完成すると、川や海に直接流れている汚水は下水道により浄化され、清らかな美しい流れとなり、トイレも水洗化され、蚊やハエの発生源がなくなり衛生的で快適なまちになります。

● 接続費用は、各家庭の環境（公共枠までの延長や汲み取りか水洗）によって異なりますので、下水道指定工事店に見積を依頼されることをすすめます。



温かい善意のご寄付  
ありがとうございます

寄付金は高浜地区振興会の活動に有効に活用させていただきます。

快気祝い  
宮川 喜一様（中向）

高浜八幡宮改修工事寄付  
東 ミホ工様



## 高浜地区

(平成22年12月1日現在)

人口 1,450人

男 666人

女 784人

世帯数 688戸

高齢化率(65才以上)

628人(43.31%)

寄稿

## 故郷を想う

福岡市在住

鶴田 浄  
(旧姓 富本)

に、関係者のご努力に感謝しています。今後も、この「鳩の峯」で、故郷の魔力を感じられる様に、更に充実出来れば嬉しいですね。

昭和33年、中学を卒業と同時に高浜を離れて、早50年を過ぎました。今、現役は離れていますが、1日とて高浜を忘れる事はありません。

現役の時は、いろんな意味で仕事に迷い、先が読めない時期もありましたが、そんな時は高浜を想いだし、元気付けられたものです。

又、時々、高浜に帰り海を見、親、兄弟、同級生に会い顔を合わせ、話す事によつてエネルギーを貰い、頑張るぞうと自らに気合いを入れ、明日からの仕事に励んだものです。ずっと高浜で暮らしている人には気付いていないかも知れませんが、故郷(高浜)にはそんな魔力を感じます。

最近、青空市、おね火、精霊舟等、高浜の情報を「鳩の峯」で、手に取るように知る事が出来て、皆さん気が大変懷かしく有難く拝見しているのではないでしょうか。特に、同級生、知人の名前が出ている記事は何回も読み返しています。高浜を離れている皆さんとの情報誌として、欠かせない存在を感じると



隣峰寺墓地にて

12月4日㈯、冬の日差しを受け、隣峰寺葛籠貫住職から高野山僧のお話や本堂の古い漁観世音菩薩の由来を聞いた後、白木の準堤觀音、高浜村に疱瘡が流行した文化年間に活躍した医師宮田賢育先生の墓などを巡りました。

高浜に居て知らなかつた事を勉強出来て、高浜をまだまだ学ばなければと思った今回の歴史散策会でした。

## 高浜歴史散策第



## 待籠もり(神待)



上田家住宅の説明を聞く参加者



天満宮で待籠もり

これは、私自身にも言い聞かせてることです。仕事にかまけて全てが不首尾に終わらない様にしたいがために。一年の締めが上首尾に果たさればきっと良い正月が迎えられると思います。来る二〇一年が、皆さんにとつてもすばらしい年であることを願っています。良い正月をお迎え下さい。

高浜には、各迫ごとに神社が祀られていますが、その神々は、神無月(旧暦10月)になると出雲(島根県)に日本中から集まり、大国主神(おおくにぬしのかみ)にその年の出来事を報告し、人々の繁栄と幸福のため打ち合わせをするそうです。天満宮(白木)は接待役で、少し早めの25日に出発し、翌月の同日に帰り、他の神々は、29日に出発し、翌月

「寒なつたなあ」、「まこて寒なつた」：朝夕の挨拶もこんなやり取りが交わされる季節になり、今年も残りわずかとなりました。一年が経つのも早いもので、本当にあつといいう間です。

編  
集  
後  
記

同日に帰つてくるとのこと。その日は各神社に入々が籠り「ユルリ」に火を燃やして、神酒を飲みかわし神様の帰りを待つ古くからの行事です。※秋葉・金比羅・恵比須の神様は残るとの旨です。

※出雲では神様が集まるこの時期を神在月と言います。